

驚異的抗菌システム日本上陸

施工代理店3月から募集

シンエイコーポレーション「バイオプロテクト」

カーペットクリーニング(クリスタルドライシステム)の輸入・販売を手掛ける(株)シンエイコーポレーション(佐藤良洋社長)は、特殊な静電スプレーで部屋全体を抗菌バリヤする新システム「バイオプロテクト」の事業展開に伴い、施工代理店の募集を3月より開始する。

バイオプロテクトとは、米国で開発された抗菌剤(主剤・第4級アンモニウム塩、オルガノシリコン化合物)で、殺菌・抗菌効果が90日以上持続するのが最大の特徴。また、どのような素材にも使用可能で高い安全性も備えている。

「メカニズム」

素材表面に同抗菌剤を塗布すると、無機材料にオルガノシリコン化合物が働き、強固にバインド(化学的に固着)する。その後、乾燥によって材料表面に微細なスパイクが形成され、このスパイク



散布作業は容易に行うことができる

クによりウイルス、細菌を物理的かつ電氣的な刺激で破壊し、不活性化させる効果がある。化学的に微生物を死滅させる殺菌剤、抗菌剤と異なり、物理的に死滅させるので、薬剤耐性菌(スーパーバグ、メチチリン耐性球菌MRS A)が有名人を発生させることがない。

「抗菌性」

バイオプロテクトの殺菌・抗菌性は幅広く、ノロウイルス(ネコカリシウイルス)、鳥、人豚インフルエンザを含む各種ウイルスをはじめ、サルモネラ菌、MRS A、O157などの細菌や、麹カビ等の悪臭のもととなる各種の真菌等にも効果を発揮する。

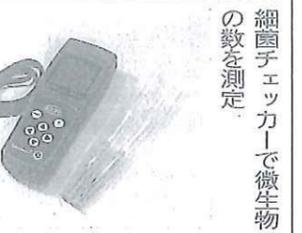
「汎用性」

バイオプロテクトは有機系溶剤、漂白成分を含まないため、ウールを含むすべての繊維製品をはじめ、ドアノブ等の金属

「持続性」

効果の持続性は長く、繊維製品の場合、薬剤が強固にバインドするため、ほぼ半永久的に抗菌性能が持続するので、衣料品やカーテンなどに適している。

また、表面が多孔質なものであればやはり半永久的に持続する。表面が平滑なものの場合には、使用状況にもよるが、2



細菌チェックカーで微生物の数を測定

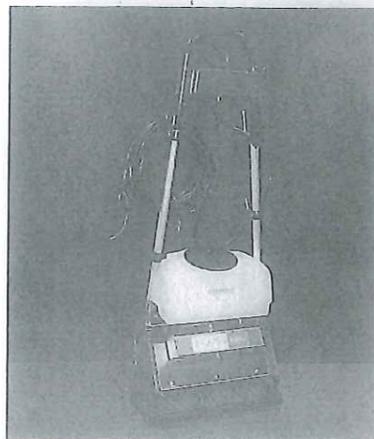
に広がりを見せていることから、日本でも同様の施設での利用が期待されている。しかし、バイオプロテクトはどのような素材にもスプレー可能で対象施設を選ばないため、「マーケットは無制限」(佐藤社長)という見方もできる。

一方、バイオプロテクトが認知されていくためには、「いかに抗菌を見える化できるかが課題」と佐藤社長は語り、目に見えないものを販売することの難しさを強調した。

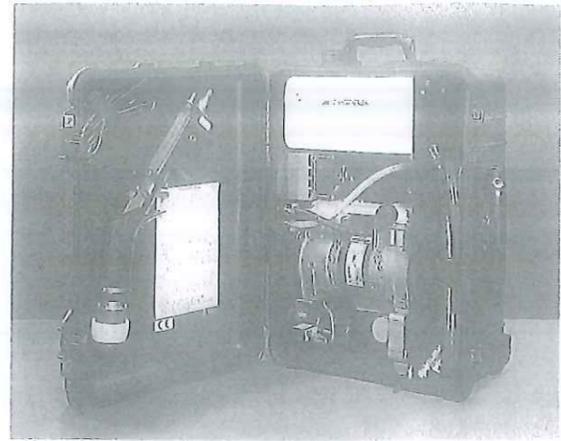
当面は検査機器で微生物の数を測定することや、一つの板にバイオプロテクトで施工した部分と他の抗菌剤で施工した部分をつくり、その違いを比較してもらうことでユーザーの理解を得ていきたいとしている。

また、佐藤社長はこのシステムは予防のためのメンテナンスというところが主眼となっているため、ディリーに使用する従来品の抗菌剤や殺菌剤との棲み分けが可能としている。

ゆくゆくはバイオプロテクトで施工した施設には「施工済み」であることを証明するマークの表示等も検討している。さらに、同社のカーペ



カーペット用GLSマシン



狭い場所に適したスーツケースタイプ



広い場所用の散布マシン

ットクリーニングシステムであるクリスタルドライの機具「GLSマシン」に転用することで、カーペットの抗菌も可能となっている。

今後、同社と取引のあるビルメン会社を対象に施工代理店を募集していくほか、定期的な事業説明会や展示会への出展で認知度を高めていく。商品、代理店に関する問い合わせは、同社営045-3211-7320まで。